

2018年旗開きにOB会員13名が出席

1月13日、札幌は昼過ぎから大粒のボタン雪が舞う冬の日でしたが、すすきののど真ん中にある居酒屋「なかなか」に組合員とOB会員、さらに裁判や学習会で援助いただいている弁護士など28名が集まり2018年旗開きが開催されました。

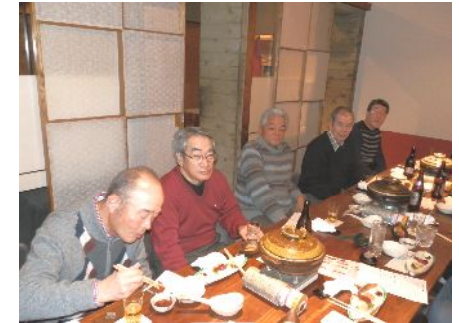
開会に当たり飯田委員長は「沢山の方々に参加いただきありがとうございます。昨年、芦別局で若い労働者が加入した直後に、職場の課長が脱退工作し加入を辞退した。とても許されないので闘いを進めていくが、とにかく大きな組織にしていきたい」と決意を述べ開会となりました。

参加した弁護士からは「今年は戦争はだめ、改憲もだめ、労働者の生活向上の闘いなど、正しい理論を持って進めていこう」「労働組合の存在意義が問われている。5年ほど一緒に闘ってきたが今後も学習しながらともに歩んでいきたい」「残業代タダや過労死寸前の時間外労働など労働法制改悪の闘いが大事。労働者とともに進めていきたい」と連帯の挨拶がありました。

約2時間の旗開きでしたが13名のOB会員は皆さん楽しそうに会食していました。



(乾杯の音頭をとる川守田書記長)



閉会の挨拶で中谷道本部書記次長(苫小牧支部)「は他の労働組合は労働者の意見を全く聞こうとしない。職場では多くの労働者が苦しんでいる。闘う労働組合の存在がますます重要になっている。皆さんの力を借りて運動を進めていきたい」と決意を述べ散会となりました。

「郵政に働く非正規労働者の正社員化と均等待遇を求め る要請署名」にご協力ください

4年前から労働契約法裁判を含め全国的な闘いを進めています。今年の春闘では正社員化と均等待遇の前進に向けて署名行動を再度取り組んでいます。OB会の皆さんに同封の署名用紙にて取り組みをお願いするものです。

下記要領にて署名の取り組みをして頂けるようお願いいたします。

署名締切日・2月27日道本部必着

送付方法・同封の返信用封筒で返送してください

署名の取組・家族、親戚、友人、知人など幅広く